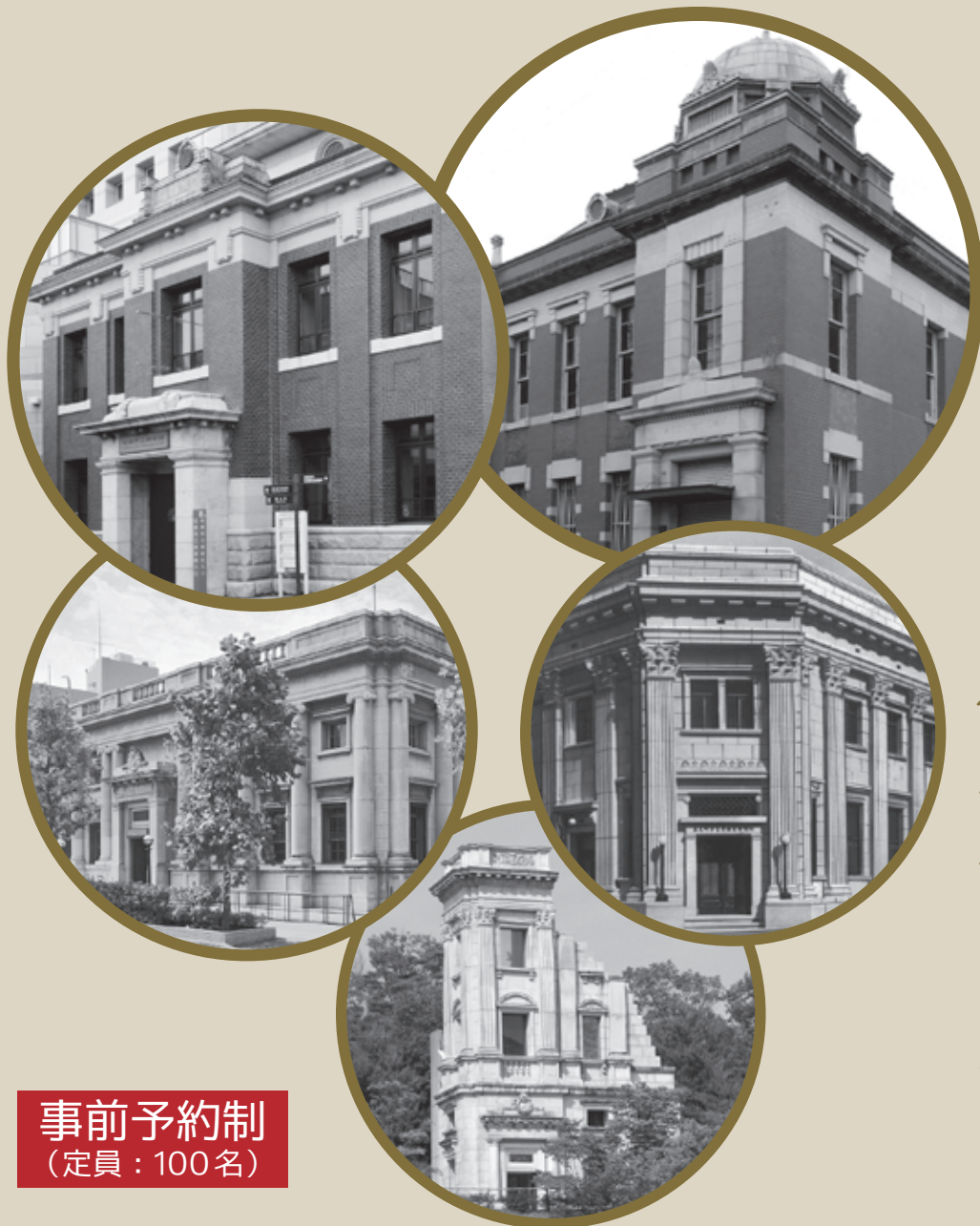


東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム

佐原三菱館を知る

川崎銀行が遺した
建造物を辿る



事前予約制
(定員：100名)

主催 東京情報大学・香取市

会場

2020年

2/19 (水)

佐原中央公民館

14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)

※詳細については、裏面をご覧ください。

第一部 【講演】

川崎銀行が遺した建築物
～建築家・矢部又吉の事例を中心に～

本橋 浩介 (佐倉市立美術館 副主幹 学芸員)

第二部 【パネルディスカッション】

川崎銀行の建造物群から見えて
くる佐原三菱館の魅力と価値

川崎 善保 (川崎定徳株式会社 監査役)

辻本 真理 (HARIO株式会社 企画広報本部 本部長)

本橋 浩介 (佐倉市立美術館 副主幹 学芸員)

坂本 行広 (香取市 教育部生涯学習課 文化財班 副主幹)

コーディネーター 堂下 浩 (東京情報大学 教授)

お問合せ・申込先

香取市役所 生活経済部市民協働課

☎ 0478-50-1261



旧川崎銀行佐原支店



旧川崎銀行佐倉支店

東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2019

佐原三菱館を知る

～川崎銀行が遺した建造物を辿る～



旧川崎銀行千葉支店



旧川崎貯蓄銀行富沢町支店

千葉県香取市の佐原にある歴史的建造物である佐原三菱館は1914（大正3）年に旧川崎銀行佐原支店として建てられた千葉県の有形文化財に指定される建物である。屋根は木骨・銅版葺で覆われ、レンガを使用した外壁で囲まれ、そして一部にドーム形式を用いた荘厳な明治洋風建築である。

川崎銀行が建設した建物は佐原三菱館に限らず、明治村に旧川崎銀行本店（日本橋）の一部が保存されているだけでなく、千葉県内だけでも現在の佐倉市立美術館のエントランス部分（旧川崎銀行佐倉支店）や、千葉市美術館のさや堂ホール（旧川崎銀行千葉支店）といった歴史的建造物として大切に保存されている。さらに、旧川崎貯蓄銀行富沢町支店の建物は現在もHARIO株式会社の本社ビルとして利用されている。実は川崎銀行は店舗の設計を当時としては新進気鋭の建築家に依頼するなど、豪華な店舗を全国に残してきた。しかしながら今日、千葉県内をはじめとして全国に残した川崎銀行のこうした壮麗な建築群について語られる機会はあまりない。全国規模の商業銀行として隆盛を誇った川崎銀行も太平洋戦争中に三菱銀行に吸収されたことで、銀行史の研究者から「謎の銀行」と称される。本フォーラムでは昨年度、「佐原三菱館が語る銀行統制の時代～香取で隆盛を誇った旧川崎銀行を辿る～」を開催し、川崎銀行の歴史を専門家と紐解いた。そこで引き続き今年度は、全国に散らばる川崎銀行が建築した建物群を紹介しながら、佐原三菱館の価値を建築的な観点からスポットを当て検証する。そして川崎銀行が佐原に荘厳な支店を建築した背景に迫る。

※東京情報大学の堂下浩教授（専門：金融論）は、平成24年度に東京情報大学と香取市が締結した地域連携協定に基づく学生主体の研究プロジェクトに携わっております。

主催 東京情報大学・香取市

開催日 令和2年2月19日（水）14：00～16：00（13:30開場）

会場 佐原中央公民館 大会議室（千葉県香取市佐原イ211）

申込方法 事前予約制（定員：100名）

■インターネットでのお申込方法 地域連携フォーラム申込フォーム
（東京情報大学ホームページ > 社会貢献・公開講座 > 公開講座 > 地域連携フォーラム）

■電話でのお申込方法 香取市役所 生活経済部市民協働課 ☎0478-50-1261

担当部局 【学校法人東京農業大学】
東京情報大学 総合情報研究所
千葉県千葉市若葉区御成台4-1 ☎043-236-4710

【香取市役所】
生活経済部市民協働課
千葉県香取市佐原口2127 ☎0478-50-1261